

最先端表現技術利用推進協会 (表技協)のご紹介

最先端表現技術の普及促進・活用を支援するための団体であり、
その実現に向けて「利用者」、「開発者」、「表現者」の支援を行っています。

■ 設立4年目

■ 法人会員 7社

■ 個人会員 31名

■ 情報会員 17名

■ ユーザー部会（利用者）

■ プロダクト部会（開発者）

■ クリエイティブ部会（表現者）

※2017年11月現在

1. 社会貢献（熊本地震の災害急性期への表現技術支援）
2. 人材育成（検定事業の推進）
3. セミナー（3D、VRなど表現技術の安全性ガイドライン）
4. 賞（2017年に羽倉賞を創設）



1. 表現技術検定(建設ICT)
2. 羽倉賞発表

表現技術検定(建設ICT)概要

(11/17 14:45 - 15:15 詳細プレゼンテーション)

■ 目的:

現在、社会(国、地域、産業界など)で必要とされる人材育成のために、各分野におけるITを活用した表現やコミュニケーション全般の知識を獲得・検証できるような場を提供することを目的としています。

第一弾として、建築・土木とくにCIMやI-Constructionにつながる情報・知識を取得できる検収・検定を計画しています。

■ 現在試験委員会にて討議中

委員長: 一般社団法人道路・舗装技術研究協会 理事長

一般財団法人最先端表現技術利用推進協会理事 稲垣竜興氏

委員: 中日本ロード・メンテナンス東京株式会社 社長 朝日理登氏

委員: 大林組 土木本部 本部長室 情報技術推進課長 杉浦伸哉氏

■ 時期

2018年春より告知予定



第一回
羽倉賞発表



獎勵賞



VR 技術奨励賞

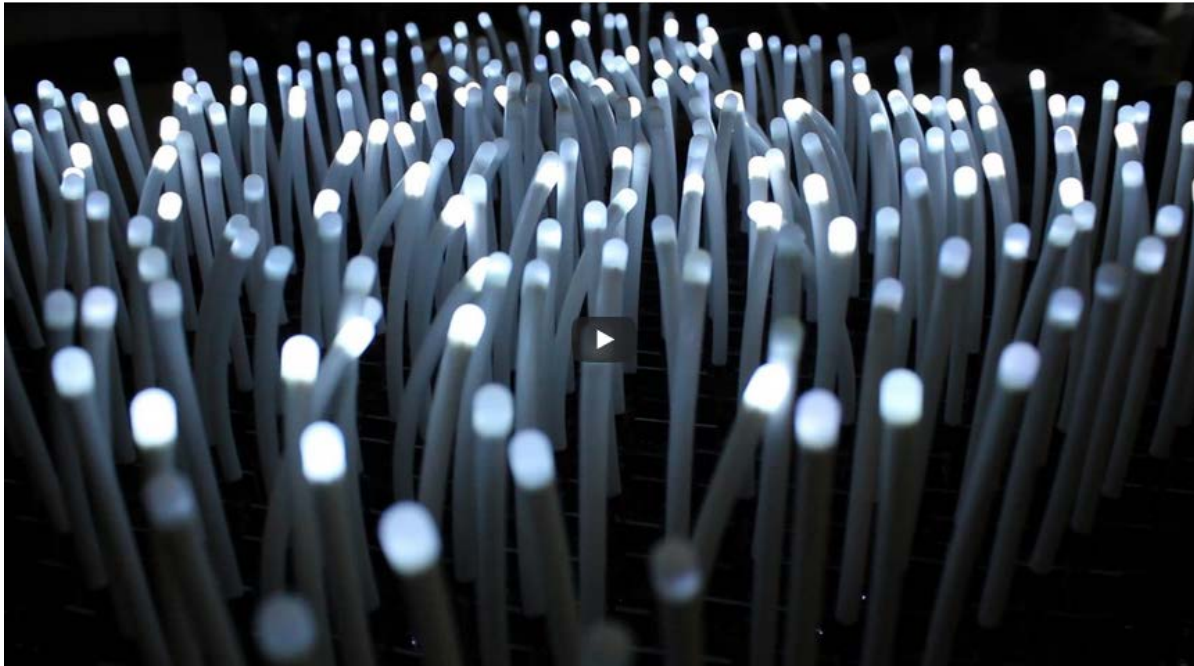
日本VR学会推薦
金沢美術工芸大学
中安 翌 殿



作品名

キネティックサーフェイスシステム

「Luminescent Tentacles」



映像技術奨励賞

日本VR学会推薦

和歌山大学

天野敏之 殿



作品名

光学フィードバックを用いた実時間質感操作技術

「日本橋三越本店天女像音と光のインスタレーション」



表現技術利用促進 奨励賞

超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム推薦

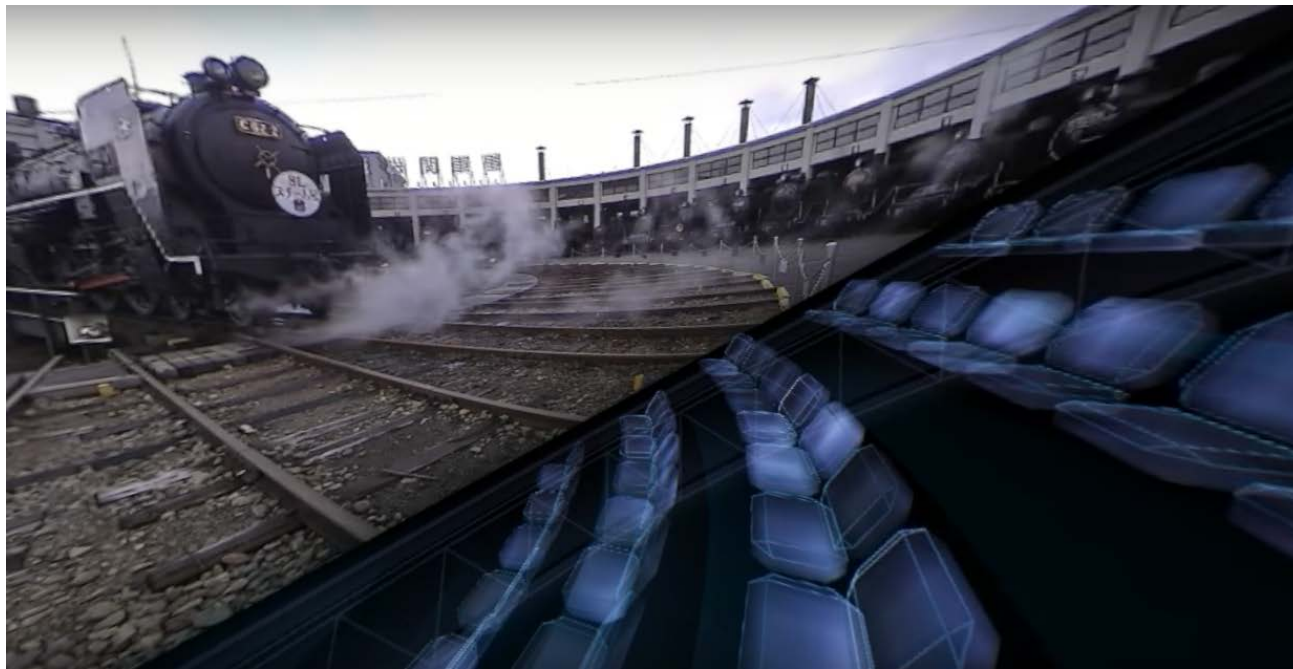
和歌山大学

尾久土 正己 殿



取り組み名

ドームスクリーン向け実写全天映像
「実写全天映像を使ったスポーツ・観光の
新たな映像表現の普及」



羽倉賞

羽倉賞

一般社団法人デザイン&テクノロジー協会推薦
株式会社 資生堂 殿



作品名

高速・高精度の

顔認識技術とメイキャップの仕上がりを再現する

CG・画像処理技術を融合した表現技術

「TeleBeauty」



TeleBeauty